

2023 年次日本島嶼学会 横浜・伊豆大島記念大会 実施要項

1. 大会のテーマ・主旨

1) 大会テーマ：日本島嶼学会設立 25 周年/伊豆大島土砂災害 10 年目のこれから

2) 大会主旨：

本年は、日本島嶼学会が発足して四半世紀、25 周年の節目に当たる。と同時に、伊豆大島土砂災害から 10 周年となる。台風 26 号通過に伴う豪雨により伊豆大島では元町地区を中心に大規模な土石流が発生し、39 名の犠牲者を出した。その後、復興と防災事業が進められつつあるが、コロナ禍もあり、島の観光や主要産業をどう活性化させるかが課題の一つとなっている。離島地域は本土に比して自然災害を被りやすく、また罹災後の復興やコミュニティの維持にも島特有の困難さが付きまとう。特に近年頻発する台風に対して、防災という観点だけでなく、その膨大なエネルギーをどう活用していくかという観点も、離島社会の発展には求められている。

記念大会となる今大会は、台風観測と科学的活用研究において国内初となる専門研究機関である台風科学技術センター（後援）を擁する横浜国立大学（横浜市保土ヶ谷区）と、港町ヨコハマ・神奈川と航路で結ばれる伊豆大島（東京都大島町）の二拠点での開催とする。

2. 開催期間

2023 年 11 月 16 日（木）～19 日（日）

第 1 日（会場：横浜国立大学） 午後：理事会

第 2 日（会場：横浜国立大学） 終日：開会式、基調講演、研究発表、総会、

第 3 日（会場：東京都大島町） 午前：町長挨拶、座談会、研究発表

午後：研究発表、懇親会

第 4 日（会場：東京都大島町） 終日：エクスカージョン

3. 開催場所および会場

開催場所：

11 月 16 日・17 日 横浜国立大学（横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1）

会 場：16 日は未定（理事会）、17 日教育文化ホール

※横浜国大会場については、2023 年 3 月 20 日発行のニューズレター第 72 号 p13 に掲載されているキャンパスマップをご参照ください。

11 月 18 日・19 日 東京都大島町（伊豆大島）

会 場：18 日は大島町開発総合センター（東京都大島町元町 1 丁目 1-14）

19 日はエクスカージョン集合場所として、伊豆大島火山博物館

（東京都大島町元町神田屋敷 7）

4. 各種問い合わせ先

①参加・発表申込に関する質問受付：日本島嶼学会 2023 年次大会実行委員会

2018jsis@gmail.com

②宿泊施設・観光等の情報

(1) 横浜：横浜観光情報ウェブサイト <https://www.welcome.city.yokohama.jp/>

(2) 伊豆大島：大島観光協会 <http://www.izu-oshima.or.jp/>

5. 後援・共催

共催：伊豆大島ジオパーク推進委員会

後援：東京都大島町、横浜国立大学台風科学研究センター、横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院

6. 実施組織<実行委員会・大会事務局>

実行委員長：長谷川秀樹（横浜国立大学）

実行委員（五十音順）：青木さぎ里（自治医科大学）、臼井里佳（伊豆大島ジオパーク推進委員会）、可知直毅（日本島嶼学会会長、東京都立大学）、須山 聡（駒澤大学）、長嶋俊介（日本島嶼学会参与、オフィス・ジ・アイランド）、野呂一仁（立正大学）、前畑明美（法政大学）

7. 大会全体の構成

①本事業：理事会、総会、基調講演、研究発表

②付随事業：エクスカッション、懇親会、事前学習授業（上記日程外）、他

8. プログラム

①日程

1) 【付随事業】8月8日ー13:00-16:00 高校生授業体験プログラム「都市で学ぶ島嶼社会論」（出前授業の代替）講師：長谷川秀樹 場所:横浜国立大学教文ホール

2) 11月16日（木）16：30 理事会（横浜国立大学）

3) 11月17日（金） 横浜国立大学教育文化ホール大会議室

13:00 開会宣言（可知会長）

13:10-13:20 学長（代理）挨拶

13:20-13:50 基調講演（横浜国立大学台風科学研究センター長、筆保弘徳教授）

「離島の観点からみた台風とその活用について」

14:00-17:00 一般報告（同ホール大会議室・中会議室・小会議室に分かれる）

17:00-18:00 総会（同ホール大会議室）

総会后、横浜大さん橋に移動

23:30 東海汽船夜行大型客船出港

（参加者の都合・判断により、東京・調布一大島航空便または東京・竹芝桟橋からの高速ジェット船を利用することも可能です）

3) 11月18日（土） 大島町役場開発総合センター（大集会室）

6:00 大島・岡田港着下船

6:00 路線バスで御神火温泉まで移動、各自朝食・入浴（710円—参加料金とは別）

9:00 までに大島町役場開発総合センターに集合

9:00-9:15 大島町長挨拶

9:15-10:15 座談会「教育の場としての島の可能性（仮題）」

話題提供：都立大の取組み（黒川信）、他、伊豆大島教育関係者、
ジオパーク関係者との対談を予定

10:25-12:25 一般研究報告②（大集会室及び大会議室）

12:25-13:25 昼食（休憩）

13:25-15:25 一般研究報告③（大集会室及び大会議室）

15:30-18:00 島の医療を考える研究会（大会議室）

「伊豆大島の医療活動のあゆみと現状の課題・未来への展望」

講師：清水忠典・大島医療センター/医療社団法人藤清会理事長

18:00-20:00 懇親会

4) 11月19日（日）

9:00 島内エクスカージョン開始（伊豆大島火山博物館に集合）

10:00 バスに乗車し、島内各所を訪問。昼食（弁当配布）。

14:00 出帆港着。解散

9. 参加・発表申込および参加費支払方法

1) 参加のみの申込（発表は行わない）

①申込期限：2023年9月22日（金）

②申込方法：以下のいずれか

i) 日本島嶼学会ウェブの大会案内ページにある「参加申込書・発表申込書（様式1）」をダウンロードし、必要事項を記入した後、大会実行委員会のメールアドレス 2018jsis@gmail.com宛のメールに添付し、件名を「2023年次大会申込」として上記期限日までに送信してください。総会に出席されない会員は、【様式3】（「委任状」もしくは「議決権行使書」のどちらか）を添付して事務局（kkawai@cpi.kagoshima-u.ac.jp）あて事務局

(kkawai@cpi.kagoshima-u.ac.jp) へて、2023年11月14日(火)までにメールでお送りください。

ii)以下グーグルフォーム (Google Form) に、必要事項を記入し、「送信」をクリックしてください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeiqQ-xoGIEWXQd5ri24G7v_y3kjo76aVFX3QaSHdF0YfqkiQ/viewform

日本島嶼学会 2023 年次大会 (横浜・伊豆大島記念大会) 参加申込書 (google.com)

総会に出席されない会員については ii)の【様式 3】に必要事項を記入の上、フォームにアップロードしたうえで送信してください。

グーグルフォームのアドレスは、大会案内状、日本島嶼学会ウェブの大会案内ページにも記載しています。

2) 研究発表を行う場合

①申込期限：2023年9月22日(金) →【様式 2】の要旨集原稿も記入、送付を終えること

②申込方法：以下の i)か ii)のいずれかとします。

i)日本島嶼学会ウェブの大会案内ページより「参加申込書・発表申込書【様式 1】」と「発表要旨【様式 2】」をダウンロードし、必要事項を記入後、2018jsis@gmail.com に添付送付してください。件名には【日本島嶼学会年次大会参加・研究発表申込】と明記してください。総会に出席されない会員については、【様式 3】に必要事項を記入後、併せて添付にて送付してください。

ii) 以下のグーグルフォーム (Google Form) より、必要事項を記入し、【様式 2】にて作成した要旨原稿をフォーム上にアップロードした上で、「送信」をクリックしてください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeiqQ-xoGIEWXQd5ri24G7v_y3kjo76aVFX3QaSHdF0YfqkiQ/viewform

日本島嶼学会 2023 年次大会 (横浜・伊豆大島記念大会) 参加申込書 (google.com)

総会に出席されない会員については ii)の【様式 3】に必要事項を記入の上、フォームにアップロードしたうえで送信してください。

グーグルフォームのアドレスは、大会案内状、日本島嶼学会ウェブの大会案内ページにも記載しています。

※掲示スペース等の調整がつかない場合、ポスター発表は口頭発表に切り替えていただく

場合があります。ポスター発表を希望された方は、10月1日以降に実行委員会までお問い合わせください。

※提出された発表要旨は、加筆修正等を行わず、そのまま要旨集に掲載します。よって【様式2】に指定されている字数、フォント、ポイントに従って記入してください。A4用紙2ページとしてください。

※【様式2】はPDFに変換せず、DOCファイルのまま提出願います。

3) 研究発表登壇の条件

①日本島嶼学会の会員資格を有する者に限る(大会実行委員会が承認した場合(伊豆大島在住者、招聘者等)を除く、また2023年3月末以前に退会した元会員は、2023年度は当学会の会員資格を持たない者とする)

②本学会の年会費に未納期間(年度)がないこと

i)2023年度入会会員は、2023年度年会費を納入済みであること。

ii)2022年度以前に入会した会員は、2022年度以前に年会費未納年度がないこと。

③複数人で発表・登壇する場合は、その中に少なくとも1名以上の当学会会員が含まれること(登壇者が当学会会員でない場合は、事前に実行委員会に通知すること)

注意) 一大会参加費と本学会の年会費とは別費目であり、原則、大会での発表を行う場合は、参加費と年会費の双方を納入する必要があります。

4) 参加費等の支払

納入期限：2023年10月20日(金)

納入方法：下記振込先に合計金額を払い込んでください。払込手数料は各自でご負担ください。

送金先 金融機関名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900

店番：798 店名：七九八 (ナナキュウハチ) 店

記号：17980 預金種目：普通預金 口座番号：052931011

口座名義：日本島嶼学会大会実行委員会(ニホントウショガツカイタイカイジッコウイインカイ)

大会参加費(要旨集含む)：3,000円(学生：1,500円)

非会員も同額とするが、伊豆大島在住者は無料とします。

要旨集・パンフ代：1,000円(当日購入のみ受付)

懇親会費：3,500円(伊豆大島在住者は2,000円とします)

昼食代(11月18日, 19日)：各1,000円(19日はエクスカッション参加者のみとします)

エクスカッション参加費：4,000円

10. 宿泊・交通の手配

宿泊は各自でご手配ください。

伊豆大島（元町）はホテル、旅館、民宿以外にゲストハウスやB & Bを含めた新形態の宿泊施設がありますが、週末開催ということもあり、早期の予約をお勧めします。

旅行割や「しまぼ通貨」が大会開催時に入手・使用可能かどうか、また宿泊される施設がそれに対応しているかなどについては、観光協会等にお問い合わせください。

横浜から伊豆大島までの移動も含めて、交通手段の手配も参加者各自で予約等済ませておいてください。

なお、18日早朝、岡田港に到着された参加者は、元町の「愛らんどセンター御神火温泉」まで路線バスで移動し、1時間ほど休息（入浴・朝食）することができます。ただし、港から路線バスに乗り継ぐ時間が数分程度と短いため、乗り遅れないようにご注意ください。

11. 集合・解散

現地集合・現地解散となります。

12. 緊急事態発生時の対応

天災や感染症等、大会開催に影響すると思われる事態が発生した場合は、実行委員会より学会ホームページにて逐次状況を連絡いたしますので、各自でご確認ください。